



九州産業大学 造形短期大学部 張 遠

Fashion Design

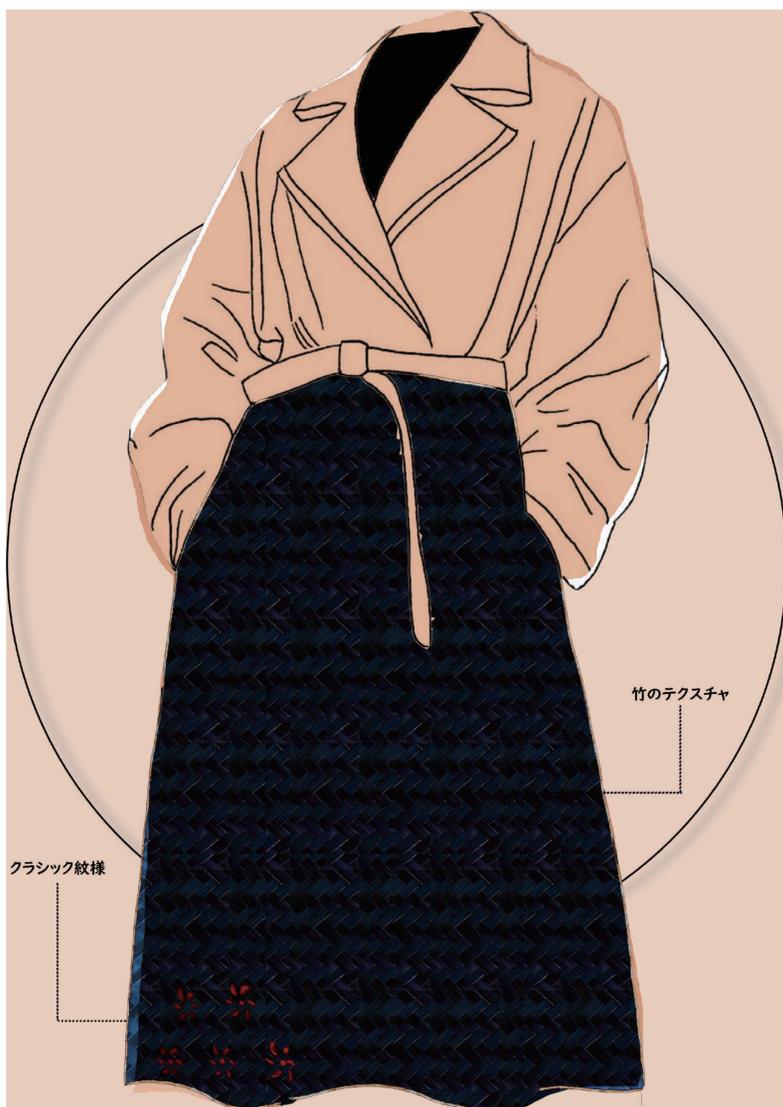
籃胎漆器の編み方は、現代のファッションデザインに取り入れる提案である。

ファッションは自己表現の手段として、個人のアイデンティティを反映させる重要なツールである。

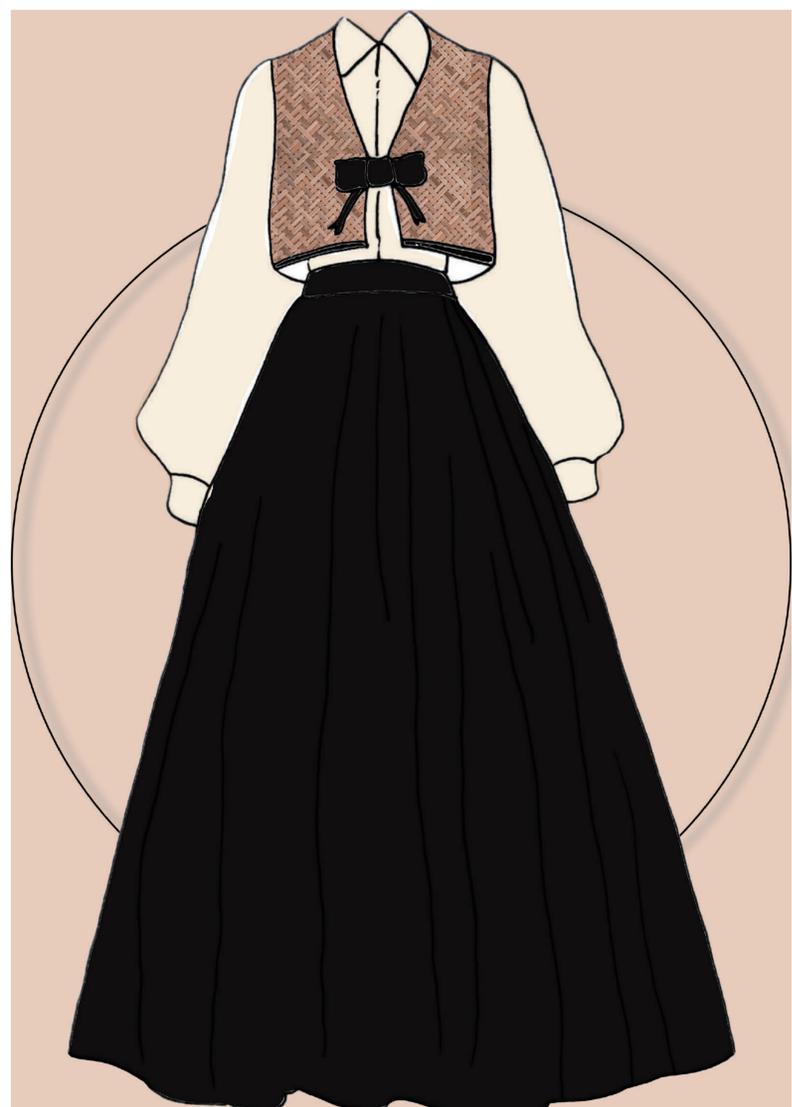
原材料である真竹を柔らかくなるまで薄くスライスし編む事により、天然素材ならではの独特の風合いを活かしたテクスチャを生み出し、立体感を演出する。また、籃胎漆器の持つ光沢と、深紅、黒、金色などの豊かな色彩を、ファッションの局所的な装飾や全体的な構造設計に使用する事により、伝統的な工芸の趣を表現し、視覚的に目を引くデザインとすることができる。

特に、格調高いシーンで使用される衣装のデザインでは、これらのデザイン要素を取り入れることで特別な印象を与える。

他にも、アクセサリや帽子等、籃胎漆器の手法を取り入れる事により、より豊かな“自分らしさ”表現をすることができる。



籃胎漆器の手法をスカートに取り入れた例



籃胎漆器の手法をベストに取り入れた例